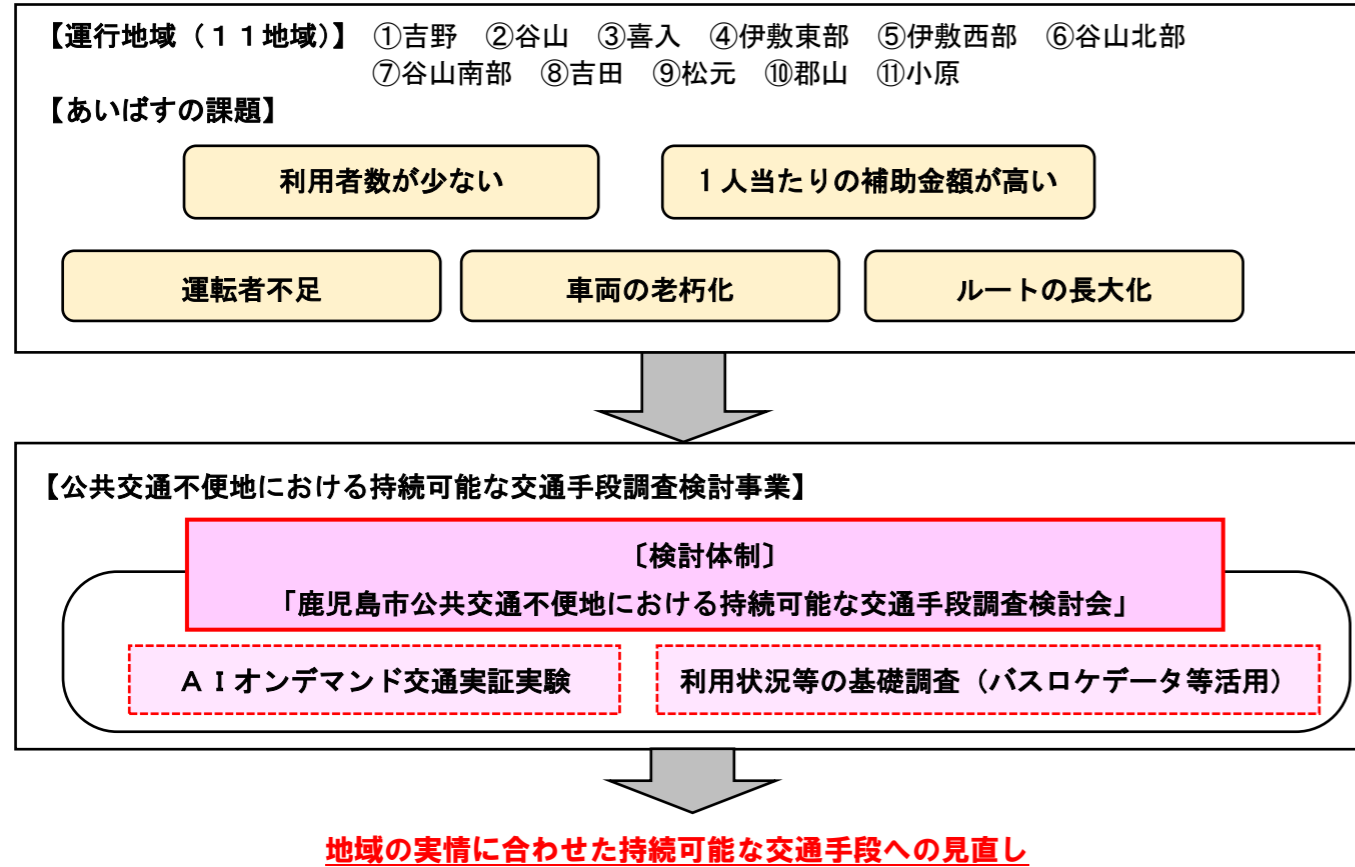


1 事業概要

公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するため運行しているコミュニティバス「あいばす」等について、利用者数の少ない便があるなど課題等があることから、地域の実情に合わせた持続可能な交通手段となるよう調査検討を行う。

《事業のイメージ》



2 令和5年度の事業内容

(1) AIオンデマンド交通実証実験（無償）

- ① 対象エリア：谷山地域あいばす運行エリア
(別紙「令和5年度AIオンデマンド交通実証実験エリア図」参照)
- ② 運行期間：2カ月程度(令和5年11月下旬から1月末)
- ③ 運行日時：上記期間のうち月～土曜日の9時から17時まで(12月31日～1月3日を除く。)
※あいばすは実証実験期間中も運行
- ④ 利用対象者：5町内会の住民(木屋宇都、大久保、玉利、笠松、旧大脇原町内会)
- ⑤ 運行方法：利用者は、エリア内に設定した乗降場所で乗降を行い、不便地内の移動、又は、不便地と目的地間の移動ができる(目的地の乗降場所は駅や公共施設、病院、商業施設などの生活利便施設を想定)
- ⑥ 運行車両：ワンボックスカー(定員10名程度)
- ⑦ 運賃：無料
- ⑧ 利用方法：事前に利用登録を行い、電話やアプリ(又はWeb)で予約を行う。

(2) あいばす利用状況等調査

- ① 利用状況等について
 - ・地域の概況(人口分布や生活利便施設立地状況など)の調査
 - ・「あいばす」利用状況データ等(バスロケーションシステムから得られるデータなど)の調査
 - ・地域別及び全体的な移動特性、系統毎の問題点、利用者ニーズ等の考察 など
- ② 利用者アンケートについて
 - ・停留所毎の乗降客数(男女別・年齢階層別)及び乗車人員の目視確認
 - ・利用頻度、利用目的等の聞き取り調査 など

(3) 公共交通不便地における持続可能な交通手段調査検討会の設置・開催

- ① 設置の目的

公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するため運行しているコミュニティバス「あいばす」等について、利用者数の少ない便があるなど課題等があることから、地域の実情に合わせた持続可能な交通手段となるよう、その調査検討に必要な事項を協議するため設置するもの。

② 委員構成(予定)

区分	所属等	役職	氏名
学識経験者	鹿児島大学	名誉教授	井上 佳朗
	九州産業大学理工学部情報科学科	教授	稲永 健太郎
	熊本大学大学院先端科学研究部	教授	円山 琢也
関係行政機関の職員	国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局	首席運輸企画専門官	西村 英明
	鹿児島県総合政策部交通政策課	課長	滝澤 朗
	鹿児島市企画財政局企画部	部長	福田 大作

3 事業全体スケジュール

令和5年度に引き続き、6年度にAIオンデマンド交通実証実験(有償)、公共交通不便地の住民のニーズ把握等を実施し、7年度に各調査結果等を踏まえた、地域の実情に応じた持続可能な交通手段への見直し方針を策定する予定である。

